

(様式5)

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県関市立関商工高等学校 学校番号 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「進路情報の提供」「適切な指導」に関するアンケート結果は、生徒および保護者・評議員共に概ね90%が「あてはまる」と回答している。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内組織体制	教務、各学年、各教科、商業専門部、工業専門部	
6 目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1)キャリア教育の推進 (2)地域に貢献できる人材の育成 (3)ガイダンス機能の充実 (4)基礎学力等の向上 (5)大学進学指導の強化と充実	(1)将来に対する目的意識を持ち、主体的に取り組む (2)望ましい勤労観・職業観の形成と地域産業の理解 (3)進路活動への適応と主体的な選択 (4)進路実現に向けた基礎学力の習得 (5)語学力や専門知識を生かした進路の実現	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1)学習活動全体を通してキャリア教育を展開 (2)地元企業PR動画制作、オンライン企業見学会 (3)オンライン進学相談会、職業理解講座 (4)R-time、校内基礎力認定試験、外部テスト (5)小論文・面接指導、共通テスト対策補習	(1)指導内容の連携と充実 (2)地域産業の理解と人材の輩出 (3)主体的な進路活動 (4)希望の学校、企業への進路実現 (5)専門性を活かした進路実現	A (B) C D (A) B C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○様々な進路行事が実施できない中、地元企業PR動画の紹介やオンライン企業見学会、オンライン進学相談会の実施を通して進路選択に向けた情報発信を行うことができた。 ○商業科では関市内の企業への内定者が5割を超え、事務職への内定者も5割を超えることができた。工業科では就職する生徒の多くが専攻する学科の専門性と関連する業種の企業への就職を決めることができた。 ●Web採用試験、Web入試といった新しい方式に対する受験対応のあり方を検討する必要がある。 ●生徒個々に貸与されるタブレットを活用したキャリアパスポートの展開や進路情報の収集において効果的な活用を図っていききたい。	総合評価 A (B) C D
12 来年度に向けての改善方策案	・各種進路行事の意義を見直し、オンライン企業見学やオンライン学校説明会などで代替できるものは積極的に導入して、行事の精選を図っていききたい。 ・キャリアパスポートにおいては情報管理担当職員と連携してタブレットを効果的に活用し、本校の実情に応じた取り組みを実践していききたい。	

II 学校関係者評価

実施年月日 令和3年1月25日

【意見・要望・評価等】

- ・市内企業への就職内定者が多く地域産業の発展に貢献している。進学においても、進学クラスおよび個別指導の更なる充実を図り、将来を見据えた進学指導を展開してほしい。また、HPを活用し卒業生のメッセージ等の情報を広く発信してほしい。